

平成25年度

財団法人・農事組合法人・  
市民団体等における女性委員  
登用状況調査報告書

平成26年3月

鹿角市市民部市民共動課

## 調査の概要

### 1. 調査目的

本調査では、鹿角市男女共同参画計画に掲げる、一般・公益社団財団法人・農事組合法人・市民団体等における女性参画推進の評価指標を継続的に把握することで、各法人等に向けた男女共同参画事業の参考とし、男女共同参画施策に役立てていくことを目的としています。

### 2. 調査対象

鹿角市内の主な社団財団法人・農事組合法人・市民団体等を対象としました。

| 業種  | 社団法人<br>(一般・公益) | 財団法人<br>(一般・公益) | NPO<br>法人 | 農事組合<br>法人 | 社会福祉法人 | 総数 |
|-----|-----------------|-----------------|-----------|------------|--------|----|
| 法人数 | 6               | 3               | 6         | 27         | 1      | 43 |

### 3. 調査方法

鹿角市内の主な一般・公益社団財団法人・農事組合法人・市民団体等に対して、調査票を郵送で配布。同封した返信用封筒で調査票を回収。

### 4. 調査期間

平成26年2月1日(土)から平成26年2月14日(金)まで

### 5. 調査結果

|        |       |
|--------|-------|
| 調査票送付数 | 43    |
| 調査票回収数 | 26    |
| 回収率    | 60.4% |

### 6. アンケート集計結果の公表について

本調査の集計結果は、各事業所に配布するほか、市ホームページ上で公開します。

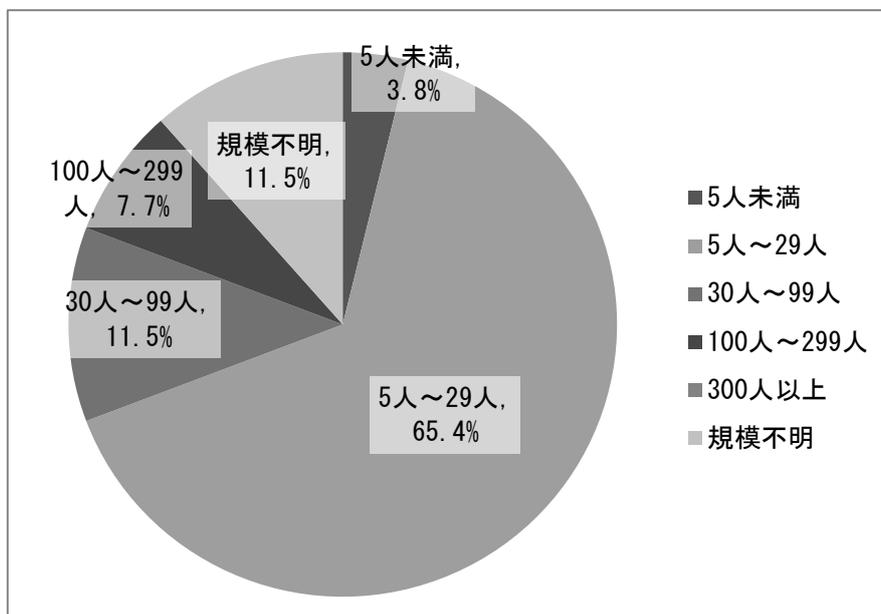
また、鹿角市男女共同参画推進会議に報告するとともに、必要に応じて市民に周知し、事業所における男女共同参画施策の基礎資料といたします。

その際、法人名の記載は行わず、統計的に取り扱うこととします。

※調査結果の割合は、小数点以下第2位を四捨五入しており、一部合計がずれる場合があります。

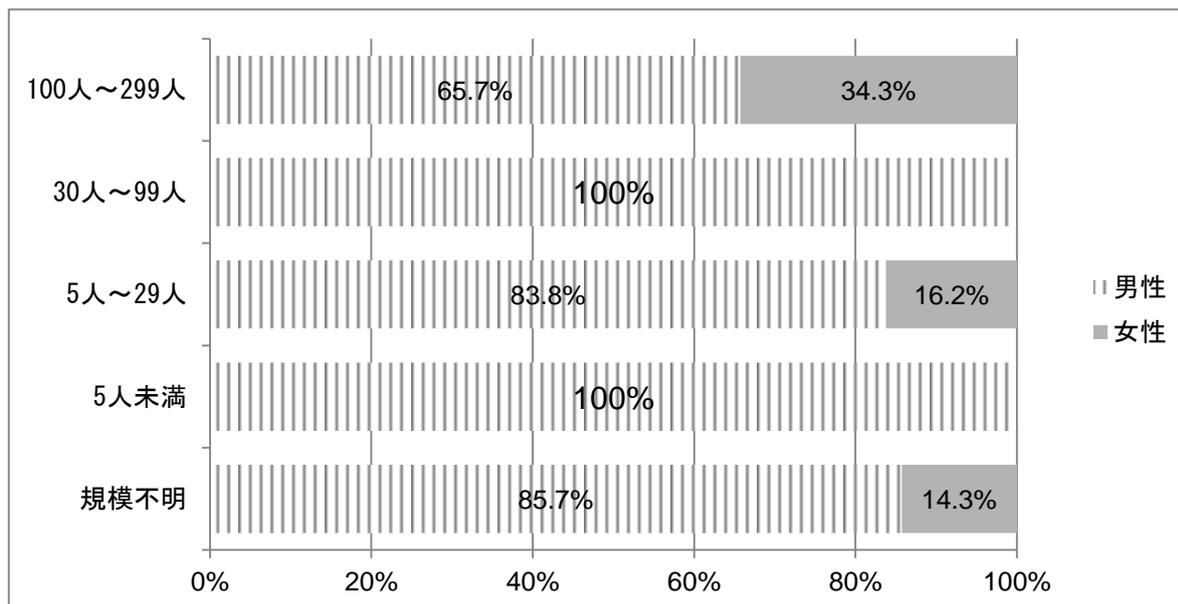
## 属性

<法人規模別割合>



## 女性役員の登用状況について

【規模別及び性別役割割合】



<全体>

平均すると女性の役員は、全体の約2割となっています。

<規模別>

女性役員の登用率が一番高い法人規模は100～299人(34.3%)となっています。次いで5～29人(16.2%)、規模不明(14.3%)で、5人未満及び30～99人規模の法人は共に0%でした。

<職員等性別内訳>

| 内訳<br>規模  | 正規職員  |       |      | 臨時的職員 |       |      | 役員    |       |      |
|-----------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|
|           | 男性    | 女性    | 合計   | 男性    | 女性    | 合計   | 男性    | 女性    | 合計   |
| 300人以上    | 0人    | 0人    | 0人   | 0人    | 0人    | 0人   | 0人    | 0人    | 0人   |
| 100人～299人 | 6人    | 87人   | 93人  | 5人    | 96人   | 101人 | 11人   | 12人   | 23人  |
| 30人～99人   | 0人    | 0人    | 0人   | 5人    | 0人    | 5人   | 0人    | 0人    | 0人   |
| 5人～29人    | 12人   | 18人   | 30人  | 14人   | 13人   | 27人  | 37人   | 11人   | 48人  |
| 5人未満      | 0人    | 0人    | 0人   | 5人    | 0人    | 5人   | 0人    | 0人    | 0人   |
| 規模不明      | 4人    | 1人    | 5人   | 2人    | 0人    | 2人   | 15人   | 2人    | 17人  |
| 合計        | 22人   | 106人  | 128人 | 31人   | 109人  | 140人 | 63人   | 25人   | 88人  |
| 男女の割合     | 17.2% | 82.8% | 100% | 22.1% | 77.9% | 100% | 71.6% | 28.4% | 100% |

<全体>

職員で見ると、正規職員、臨時職員共に女性の割合が高くなっています。

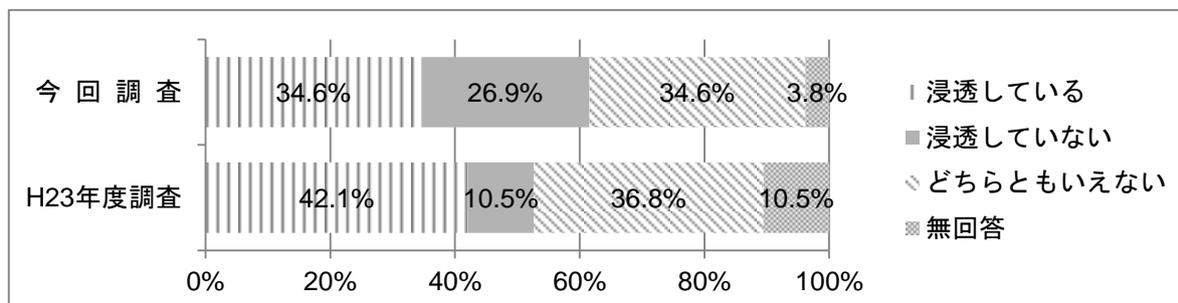
<性別>

正規職員で見ると、男性（17.2%）より女性（82.8%）が65.6ポイント高くなっています。また、臨時的職員で見ても、男性（22.1%）に対して女性（77.9%）が55.8ポイント高くなっています。特に法人規模が100人～299人で女性職員数が多くなっています。

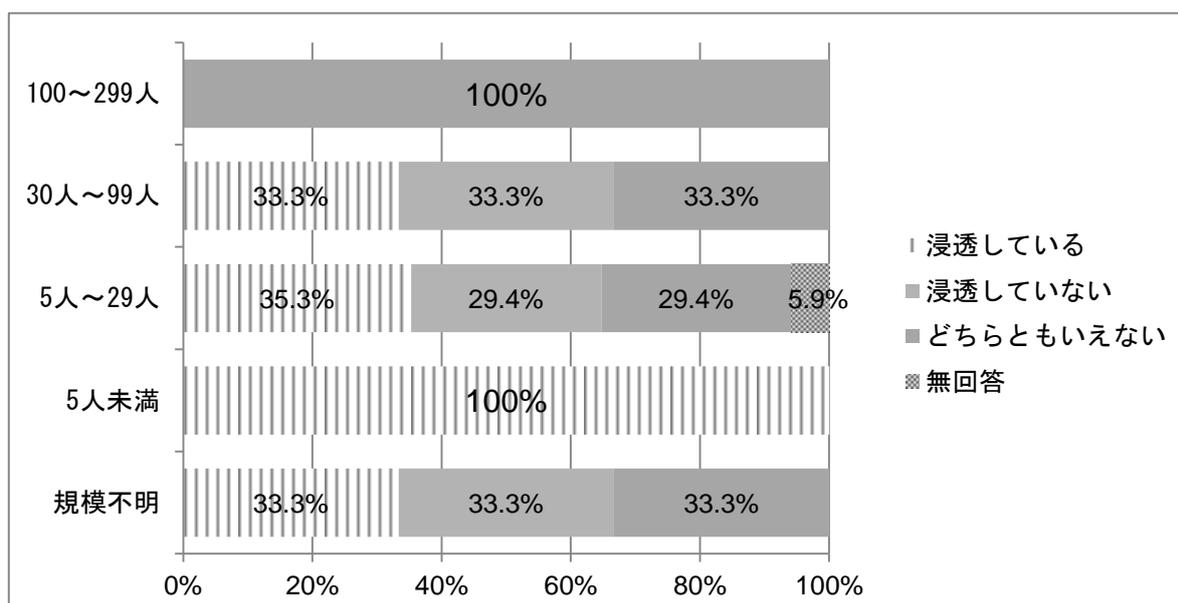
## 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問1 職場において「ワーク・ライフ・バランス」は浸透していると思いますか。

<全体>



<規模別>



<全体>

「浸透している」が34.6%で「浸透していない」の26.9%より7.7ポイント上回りました。

一方で「どちらともいえない」が、平成23年度調査時とほぼ同じく3割を占めており、ワーク・ライフ・バランスの周知不足や、前回調査時から変化がなかったことなどが考えられることから、ワーク・ライフ・バランスの周知や推進により力を入れる必要があると考えられます。

<規模別>

5人未満の規模の法人で「浸透している」が100%、100～299人の規模の法人で「どちらともいえない」が100%となりました。他の規模の法人は、「浸透している」「浸透していない」「どちらともいえない」がほぼ同じ割合となりました。

問1-1 ワーク・ライフ・バランスの浸透について、選択した理由をお聞かせください。

**【浸透しているを選んだ理由】**

- ・ 不平なくがんばってもらっている
- ・ 常日頃やりがいがある職場だと話してくれている
- ・ 各職員の聞き取り及び就業規則等整備している
- ・ 休日等は自由に取得することが出来、老親の介護を抱えている人もいるが、みんな元気に働いている
- ・ 特定の職員に業務が偏ることのないような配慮に努めている

**【浸透していないを選んだ理由】**

- ・ 市役所にいっても女性の管理職や障害者の職員を見る事がない
- ・ 仕事量が多く休みの日に出勤してきている人が多い

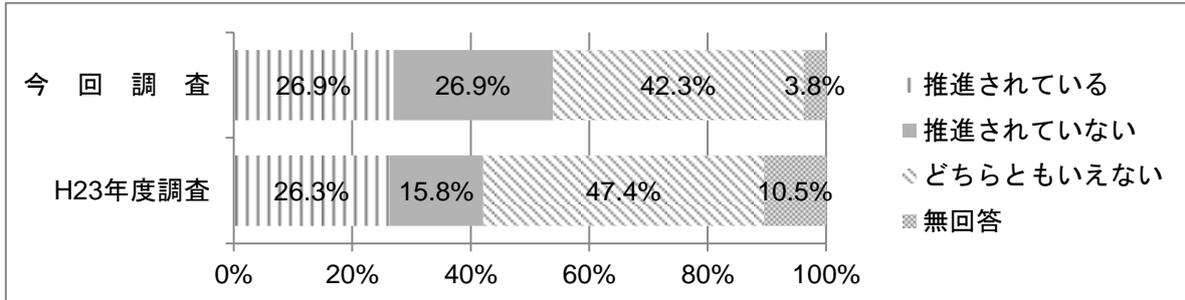
**【どちらともいえないを選んだ理由】**

- ・ よくわからない
- ・ 生活に充実がなく働く楽しみがない
- ・ 生がいを持っていて働いていると思っているが実態の把握していない
- ・ まだ若い人は子育てにおわれ、これでは子供をたくさん育てられないのではないかと思う。祖父とか祖母と共に暮らしてはどうか？

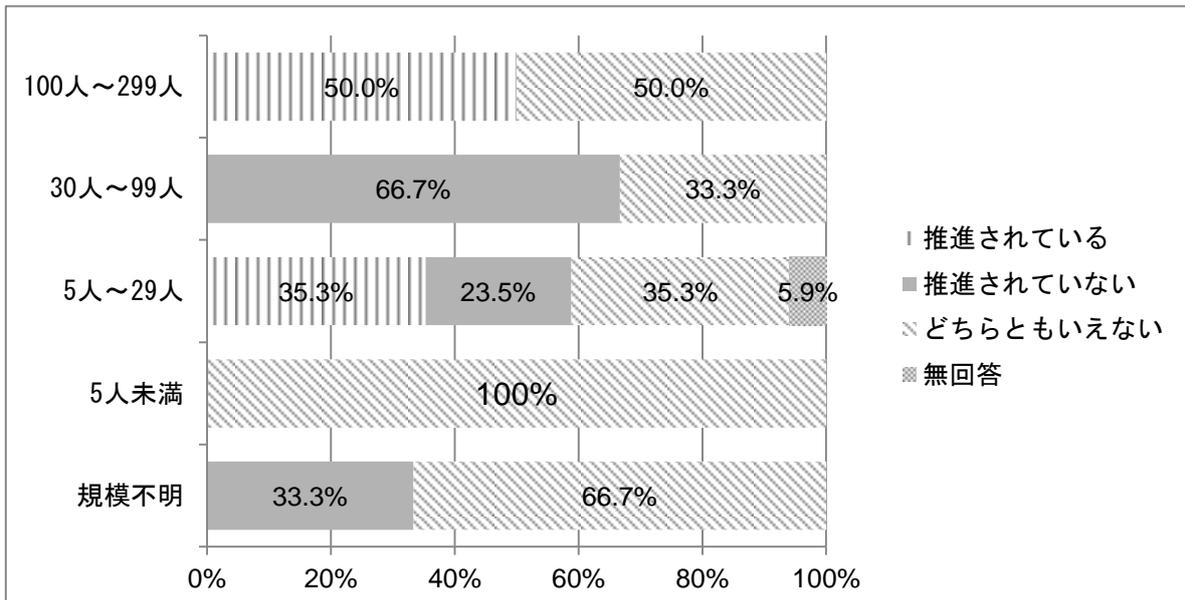
## 男女共同参画の推進について

問2 鹿角市の男女共同参画は推進されていると思いますか。

<全体>



<規模別>



<全体>

今回調査は平成23年度調査とほぼ同じで割合ですが、「推進されている」と「推進されていない」が同数値になりました。また、「どちらともいえない」がほぼ半数を占めており、男女共同参画の推進とはどういったことなのかという具体的な周知や、事例の紹介などをする必要があると考えられます。

<規模別>

規模別にみると、「推進されている」の割合が高いのは、100～299人規模の法人の50%、次いで5～29人規模の法人の35.3%となりました。「推進されていない」の割合が高いのは、30～99人規模の法人の66.7%、次いで規模不明の33.3%、5～29人規模の法人の23.5%となりました。全ての規模の法人で「どちらともいえない」の占める割合が30%を超えており、5人未満の法人では100%となりました。

問2-2 鹿角市の男女共同参画の推進について、選択した理由をお聞かせください。

**【推進されているを選んだ理由】**

- ・ 色々な所でも女性役員が頑張っている姿がみられる
- ・ 女性の方が職場や地域でそんざい感を増しているように感じる
- ・ 女性でも頭角を表して頑張っている方が見受けられるので
- ・ 会議の場でも女性の参加者が多く出席している（主に高齢者ではあるが）
- ・ 女性登用を考えている
- ・ 鹿角市の作成している冊子等を見る限りでは男女の隔てなく共に責任を持って働いていると思う。

**【推進されていないを選んだ理由】**

- ・ 1-1と同じ農協でも女性の管理職を見る事がない。共働課の課長や班長は女性や障害者がいるのか？
- ・ まだまだ女性役職の人数が少ない

**【どちらともいえないを選んだ理由】**

- ・ 状況がよくわからない
- ・ 第1次計画の未達成が第2次計画ではどのような進捗度にあるのでしょうか。推進には民間の理解が最も必要と考えます。

【企業、教育機関、各種団体における「仕事と生活の調和」または「男女共同参画社会」の推進に関し、市や県、国に望むことはなんですか。日頃お感じのことやご意見がありましたら、ご記入ください。】

- ・ 役所がもっと女性を管理職に登用し見本を示すべき
- ・ 設問の工夫を考えて欲しい
- ・ 農家の支援よろしくお願いします
- ・ 行政や関係機関の尚一層の推進をしてほしい。地域や自治会単位では女性の活動が主力となっている
- ・ まず国の職員に会う事がないが、県や市、農協等で女性や障害者の職員、管理職を増やす事から始めるべきだ
- ・ 地域経済が安定成長させる対策が必要と思う。
- ・ 男女共同参画という呼び名が魅力を感じさせないので変わるネーミングはないものかと思う。
- ・ 鹿角地方の企業の賃金が安い為もっと大企業の進出を望む
- ・ アベノミクスだけでは地方まで影響がないので望んでいる。
- ・ 秋田県は女性の雇用の場に託児所等の育児をしながら仕事を出来る企業が少ない
- ・ 企業の取り組みの状況や情報が少ないように感じられる。